

1 桐生市の暑さの現状

近年、全国的に夏の暑さが厳しさを増していますが、桐生市は特に暑さの厳しいまちとなりつつあります。令和7年8月5日には、41.2度を観測し、非常に危険な暑さとなりました。

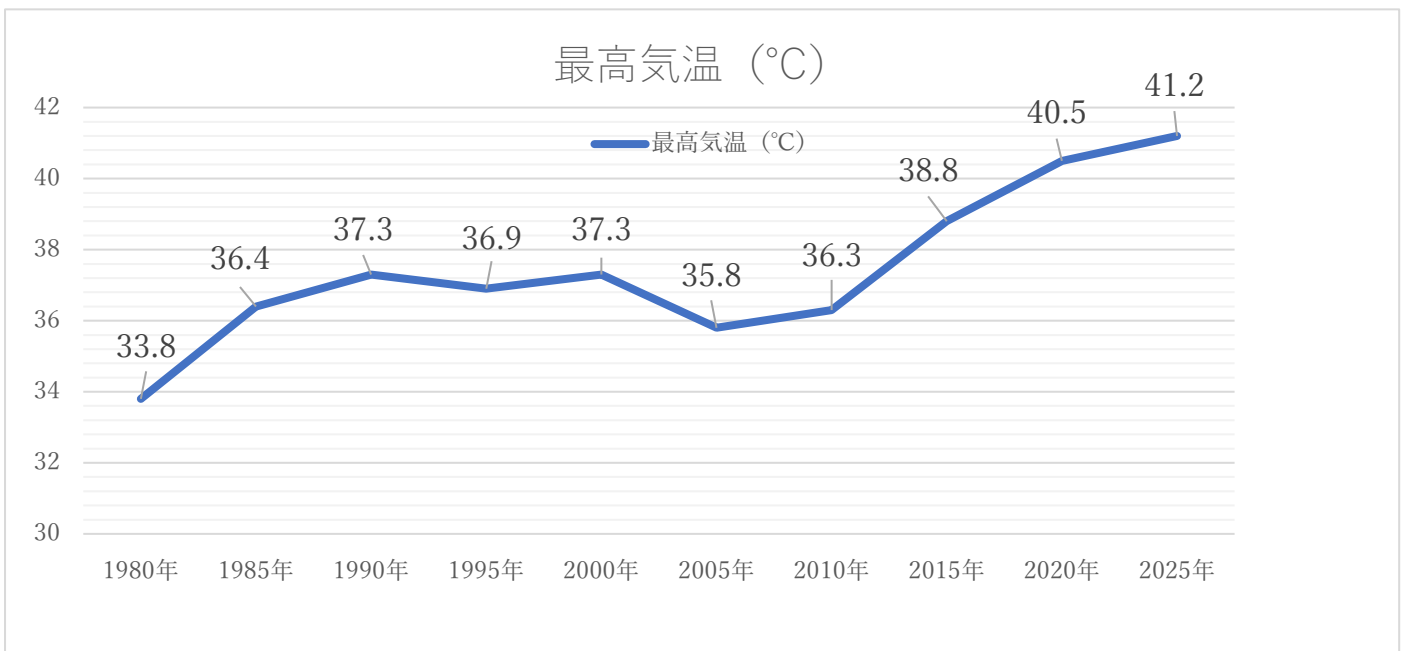
そのため、市民のみなさまの健康を守るために「桐生市熱中症予防ガイド」を作成いたしました。ぜひご活用ください。

○桐生市の最高気温（℃）の推移

下のグラフでは、桐生市の5年ごとの最高気温の推移を表しています。

1980年には最高気温は33.8℃でしたが、2025年には41.2℃となり、約50年の間に7.4℃も上昇していることがわかります。

特に、2010年まではほぼ横ばいでしたが、2010年から2025年の間に約5.0℃上昇しており、近年急激に気温が上昇しています。



***たった1℃の上昇でも、体への負担や生活環境は大きく変化します。**

例えば…

気温 28℃⇒29℃：「ちょっと暑い」から「冷房が欲しくなる暑さ」になります。

気温 33℃⇒34℃：外にいるだけで体力を消耗します。路面温度は約50～60℃ほどになり、小さい子どもやペットは特に危険です。

約7℃の気温上昇では、過ごしやすい気候から蒸し暑く熱中症に注意が必要な気温に変化します。また、体は汗の量が増え、脱水のリスクも高まり、体力の消耗も激しくなります。

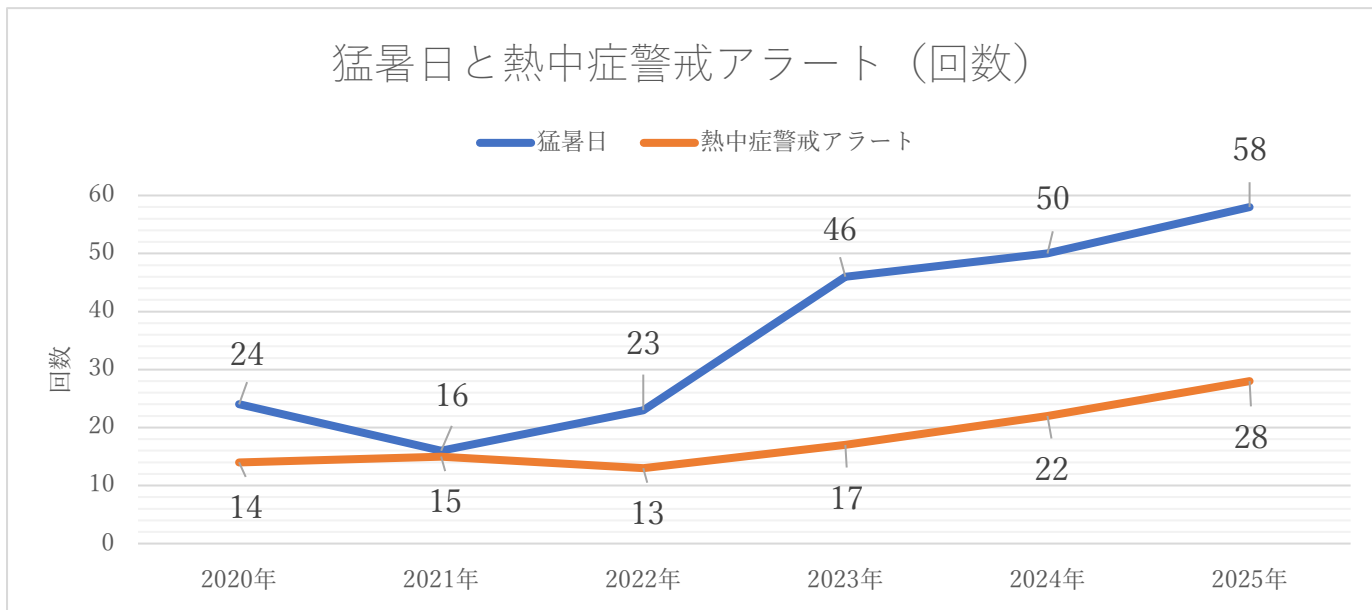
毎年暑さが厳しくなっているため、「いつもの暑さ」ではないことを意識しましょう



○猛暑日と熱中症警戒アラートの発令

下のグラフでは、桐生市の猛暑日（35℃以上）の日数と熱中症警戒アラート発令回数の推移を表しています。

猛暑日、熱中症警戒アラートのどちらとも年々増加傾向にあることがわかります。



熱中症警戒アラートとは…

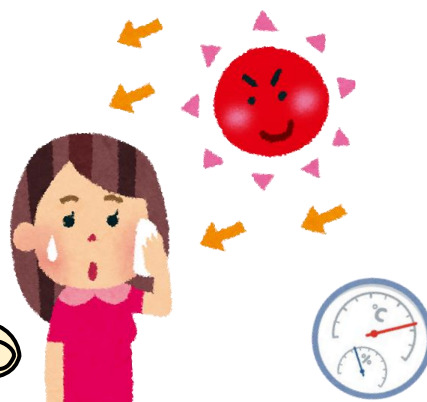
熱中症警戒アラートとは、県内のいずれかの地点で、熱中症の危険性が極めて高い暑熱環境（暑さ指数 33 以上）と予測されるときに、熱中症の危険性への気づきを促し、熱中症予防行動を呼びかけるため、環境省・気象庁から発表されるものです。

また、県内のすべての観測地点（草津・田代を除く）で暑さ指数が 35 以上になると予想される際には、**熱中症特別警戒アラート**が発表されます。これは、命の危険がある極めて危険なレベルなため、すべての方が命を守る行動をとりましょう。

暑さ指数（WBGT）とは？

- ①湿度
- ②日射・輻射などの熱環境
- ③気温

の3つを取り入れた指標です。
人体と外気との熱のやりとりに
着目しています。



熱中症予防の詳細および「桐生市熱中症予防ガイド」については、桐生市ホームページにも掲載しております。
右のQRコードより確認できます。



桐生市ホームページ
熱中症にご注意ください！